



show running-config ldap コマンド～ show running-config wccp コマンド

show running-config ldap

実行 LDAP アトリビュート マップ内の LDAP アトリビュート名と値マッピングを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ldap** コマンドを使用します。

show running-config [all] ldap attribute-map name

シンタックスの説明

all	すべての LDAP アトリビュート マップを表示します。
name	表示する個々の LDAP アトリビュート マップを指定します。

デフォルト

デフォルトでは、すべてのアトリビュート マップ、マッピング名、およびマッピング値が表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

セキュリティ アプライアンス上で実行されているアトリビュート マップに含まれる LDAP のアトリビュート名と値マッピングを表示するには、このコマンドを使用します。**all** オプションを使用してすべてのアトリビュート マップを表示するか、マップ名を指定して単一のアトリビュート マップを表示できます。**all** オプションも LDAP アトリビュート マップ名も入力しない場合は、すべてのアトリビュート マップ、マッピング名、およびマッピング値が表示されます。

例 特権 EXEC モードで入力した次の例では、指定された実行アトリビュートマップ「myldapmap」のアトリビュート名と値マッピングが表示されています。

```
hostname# show running-config ldap attribute-map myldapmap
map-name Hours cVPN3000-Access-Hours
map-value Hours workDay Daytime
```

次のコマンドは、すべての実行アトリビュートマップ内のすべてのアトリビュート名と値マッピングを表示します。

```
hostname# show running-config all ldap attribute-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
ldap attribute-map (グローバル コンフィギュレーション モード)	ユーザ定義のアトリビュート名を Cisco LDAP アトリビュート名にマッピングするために、LDAP アトリビュートマップを作成し、名前を付けます。
ldap-attribute-map (AAA サーバ ホスト モード)	LDAP アトリビュートマップを LDAP サーバにバインドします。
map-name	ユーザ定義の LDAP アトリビュート名を、Cisco LDAP アトリビュート名にマッピングします。
map-value	ユーザ定義のアトリビュート値を、Cisco アトリビュートにマッピングします。
clear configure ldap attribute-map	すべての LDAP アトリビュートマップを削除します。

show running-config logging

現在実行されているすべてのロギング コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config logging* コマンドを使用します。

```
show running-config [all] logging [level | disabled]
```

シンタックスの説明

all	(オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、ロギング コンフィギュレーションを表示します。
disabled	(オプション) デイセーブルになっているシステム ログ メッセージのコンフィギュレーションのみを表示します。
level	(オプション) デフォルト以外のセキュリティ レベルを持つシステム ログ メッセージのコンフィギュレーションのみを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1) (1)	このコマンドが、 show logging コマンドから変更されました。

例

次に、*show running-config logging disabled* コマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config logging disabled
no logging message 720067
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging message	ロギングを設定します。
show logging	ログ バッファおよびその他のロギング設定を表示します。

show running-config mac-address

実行コンフィギュレーションの **mac-address auto** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-address** コマンドを使用します。

show running-config mac-address

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config mac-address** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-address
no mac-address auto
```

関連コマンド

コマンド	説明
failover mac address	Active/Standby フェールオーバーの物理インターフェイスに対して、アクティブ MAC アドレスとスタンバイ MAC アドレスを設定します。
mac address	Active/Active フェールオーバーの物理インターフェイスに対して、アクティブ MAC アドレスとスタンバイ MAC アドレスを設定します。
mac-address	物理インターフェイスまたはサブインターフェイスの MAC アドレス (アクティブおよびスタンバイ) を手動で設定します。マルチ コンテキスト モードでは、同じインターフェイスに対して、コンテキストごとにそれぞれ別の MAC アドレスを設定することができます。
mac-address auto	マルチ コンテキスト モードの共有インターフェイスの MAC アドレス (アクティブおよびスタンバイ) を自動生成します。
show interface	MAC アドレスを含む、インターフェイスの特性を表示します。

show running-config mac-address-table

実行コンフィギュレーションの `mac-address-table static` および `mac-address-table aging-time` のコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config mac-address-table` コマンドを使用します。

show running-config mac-address-table

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、`show running-config mac-learn` コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-address-table
mac-address-table aging-time 50
mac-address-table static inside1 0010.7cbe.6101
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>firewall transparent</code>	ファイアウォール モードを透過に設定します。
	<code>mac-address-table aging-time</code>	ダイナミック MAC アドレス エントリのタイムアウトを設定します。
	<code>mac-address-table static</code>	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
	<code>mac-learn</code>	MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
	<code>show mac-address-table</code>	ダイナミック エントリとスタティック エントリを含め、MAC アドレス テーブルを表示します。

show running-config mac-learn

実行コンフィギュレーションの **mac-learn** コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-learn** コマンドを使用します。

show running-config mac-learn

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config mac-learn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mac-learn
mac-learn disable
```

関連コマンド

コマンド	説明
firewall transparent	ファイアウォール モードを透過に設定します。
mac-address-table static	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
mac-learn	MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
show mac-address-table	ダイナミック エントリとスタティック エントリを含め、MAC アドレス テーブルを表示します。

show running-config mac-list

以前に **mac-list** コマンドで指定した MAC アドレスのリストを MAC リスト番号で指定して表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mac-list** コマンドを使用します。

```
show running-config mac-list id
```

シンタックスの説明

id 16 進形式の MAC アドレス リスト番号です。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI ガイドラインに沿うように、このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

show running-config aaa コマンドは、AAA コンフィギュレーションの一部として **mac-list** コマンド文を表示します。

例

次の例は、*id* が `adc` と等しい MAC アドレス リストを表示する方法を示しています。

```
hostname(config)# show running-config mac-list adc
mac-list adc permit 00a0.cp5d.0282 ffff.ffff.ffff
mac-list adc deny 00a1.cp5d.0282 ffff.ffff.ffff
mac-list ac permit 0050.54ff.0000 ffff.ffff.0000
mac-list ac deny 0061.54ff.b440 ffff.ffff.ffff
mac-list ac deny 0072.54ff.b440 ffff.ffff.ffff
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac-list	先頭一致検索を使用して MAC アドレスのリストを追加します。
clear configure mac-list	指定した mac-list コマンド文を削除します。
show running-config aaa	実行されている AAA コンフィギュレーションの値を表示します。

show running-config management-access

管理アクセス用に設定されている内部インターフェイスの名前を表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config management-access* コマンドを使用します。

```
show running-config management-access
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン *management-access* コマンドを使用すると、*mgmt_if* で指定したファイアウォール インターフェイスの IP アドレスを使用して、内部管理インターフェイスを定義できます（インターフェイス名は *nameif* コマンドによって定義され、*show interface* コマンドの出力で引用符 “ ” に囲まれて表示されます）。

例 次の例は、「inside」という名前のファイアウォール インターフェイスを管理アクセス インターフェイスとして設定し、結果を表示する方法を示しています。

```
hostname# management-access inside
hostname# show running-config management-access
management-access inside
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<i>clear configure management-access</i>	セキュリティ アプライアンスの管理アクセスのための、内部インターフェイスのコンフィギュレーションを削除します。
	<i>management-access</i>	管理アクセス用の内部インターフェイスを設定します。

show running-config monitor-interface

実行コンフィギュレーションに含まれているすべての **monitor-interface** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config monitor-interface** コマンドを使用します。

show running-config [all] monitor-interface

シンタックスの説明

all (オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての **monitor-interface** コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

monitor-interface コマンドは、デフォルトではすべての物理インターフェイスでイネーブルになっています。このデフォルト設定を表示するには、このコマンドと共に **all** キーワードを使用する必要があります。

例

次に、**show running-config monitor-interface** コマンドの出力例を示します。最初の例では **all** キーワードを使用しないでコマンドが入力されているため、モニタリングがイネーブルのインターフェイスだけが出力に表示されます。2 番目の例では **all** キーワードを使用してコマンドが入力されているため、デフォルトの **monitor-interface** コンフィギュレーションも表示されます。

```
hostname# show running-config monitor-interface
no monitor-interface outside
hostname#
hostname# show running-config all monitor-interface
monitor-interface inside
no monitor-interface outside
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
monitor-interface	フェールオーバー用に指定されているインターフェイスのヘルス モニタリングをイネーブルにします。
clear configure monitor-interface	実行コンフィギュレーション内の no monitor-interface コマンドを削除し、デフォルトのインターフェイスヘルス モニタリング状態に戻します。

show running-config mroute

実行コンフィギュレーションに含まれているスタティック マルチキャスト ルート テーブルを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mroute** コマンドを使用します。

```
show running-config mroute [dst [src]]
```

シンタックスの説明

<i>dst</i>	マルチキャスト グループの Class D アドレス。
<i>src</i>	マルチキャスト送信元の IP アドレス。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

例

次に、**show running-config mroute** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mroute
```

関連コマンド

コマンド	説明
mroute	スタティック マルチキャスト ルートを設定します。

show running-config mtu

Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) の現在のブロック サイズを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config mtu** コマンドを使用します。

```
show running-config mtu [interface_name]
```

シンタックスの説明

interface_name (オプション) 内部または外部のネットワーク インターフェイス名。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

例

次に、**show running-config mtu** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config mtu
mtu outside 1500
mtu inside 1500
mtu dmz 1500
hostname# show running-config mtu outside
mtu outside 1500
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure mtu	すべてのインターフェイスの設定済み最大伝送ユニット値を消去します。
mtu	インターフェイスの最大伝送ユニットを指定します。

show running-config multicast-routing

実行コンフィギュレーションに **multicast-routing** コマンドが含まれている場合に、それらのコマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config multicast-routing** コマンドを使用します。

show running-config *multicast-routing*

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show running-config multicast-routing** コマンドは、実行コンフィギュレーションに含まれている **multicast-routing** コマンドを表示します。 **multicast-routing** コマンドを実行コンフィギュレーションから削除するには、**clear configure multicast-routing** コマンドを入力します。

例 次に、**show running-config multicast-routing** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config multicast-routing
multicast-routing
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure multicast-routing	multicast-routing コマンドを実行コンフィギュレーションから削除します。
multicast-routing	セキュリティ アプライアンス上のマルチキャスト ルーティングをイネーブルにします。

show running-config name

IP アドレスに関連付けられている (**name** コマンドで設定した) 名前のリストを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config name** コマンドを使用します。

show running-config name

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例は、IP アドレスに関連付けられている名前のリストを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config name
name 192.168.42.3 sa_inside
name 209.165.201.3 sa_outside
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure name	名前のリストをコンフィギュレーションから消去します。
	name	名前を IP アドレスに関連付けます。

show running-config nameif

実行コンフィギュレーションのインターフェイス名コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nameif** コマンドを使用します。

```
show running-config nameif [physical_interface[.subinterface] | mapped_name]
```

シンタックスの説明

mapped_name	(オプション) マルチ コンテキスト モードで、マッピング名を allocate-interface コマンドを使用して割り当てた場合、その名前を指定します。
physical_interface	(オプション) インターフェイス ID (gigabitethernet0/1 など) を指定します。使用できる値については、 interface コマンドを参照してください。
subinterface	(オプション) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

デフォルト

インターフェイスを指定しない場合は、すべてのインターフェイスのインターフェイス名コンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show nameif から変更されました。

使用上のガイドライン

マルチ コンテキスト モードで、**allocate-interface** コマンドを使用してインターフェイス ID をマッピングした場合、そのマッピング名はコンテキスト内でのみ指定できます。

このコマンドの表示内容では、**security-level** コマンドのコンフィギュレーションも示されます。

例

次に、**show running-config nameif** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config nameif
!
interface GigabitEthernet0/0
  nameif inside
  security-level 100
!
interface GigabitEthernet0/1
  nameif test
  security-level 0
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>allocate-interface</code>	セキュリティ コンテキストにインターフェイスおよびサブインターフェイスを割り当てます。
<code>clear configure interface</code>	インターフェイス コンフィギュレーションを消去します。
<code>interface</code>	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードに入ります。
<code>nameif</code>	インターフェイス名を設定します。
<code>security-level</code>	インターフェイスのセキュリティ レベルを設定します。

show running-config names

IP アドレスから名前への変換を表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config names` コマンドを使用します。

```
show running-config names
```

シンタックスの説明

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

`names` コマンドと共に使用します。

例

次の例は、IP アドレスから名前への変換を表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config names
name 192.168.42.3 sa_inside
name 209.165.201.3 sa_outside
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure name</code>	名前のリストをコンフィギュレーションから消去します。
<code>name</code>	名前を IP アドレスに関連付けます。
<code>names</code>	IP アドレスから名前への変換をイネーブルにします。変換の内容は、 <code>name</code> コマンドで設定できます。
<code>show running-config name</code>	IP アドレスに関連付けられている名前のリストを表示します。

show running-config nat

ネットワークに関連付けられているグローバル IP アドレスのプールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config nat** コマンドを使用します。

```
show running-config nat [interface_name] [nat_id]
```

シンタックスの説明

<i>interface_name</i>	(オプション) ネットワーク インターフェイスの名前。
<i>nat_id</i>	(オプション) ホストグループまたはネットワークの ID。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、UDP プロトコルの最大接続値を表示します。UDP 最大接続値が設定されていない場合、この値はデフォルトでは常に 0 と表示され、適用されません。



(注)

透過モードでは、有効となる NAT ID は 0 のみです。

例

次の例は、ネットワークに関連付けられているグローバル IP アドレスのプールを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config nat
nat (inside) 1001 10.7.2.0 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1001 10.7.2.32 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1001 10.7.2.64 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.96 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.128 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1002 10.7.2.160 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1003 10.7.2.192 255.255.255.224 0 0
nat (inside) 1003 10.7.2.224 255.255.255.224 0 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure nat	NAT コンフィギュレーションを削除します。
nat	ネットワークをグローバル IP アドレス プールに関連付けます。

show running-config nat-control

NAT コンフィギュレーションの要件を表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config nat-control` コマンドを使用します。

```
show running-config nat-control
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、`show running-config nat-control` コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config nat-control
no nat-control
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>nat</code>	他のインターフェイスのグローバルアドレスに変換される、1つのインターフェイス上のアドレスを定義します。
<code>nat-control</code>	NAT 規則を設定していない場合でも、内部ホストが外部ネットワークと通信することを許可します。

show running-config ntp

実行コンフィギュレーションの NTP コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ntp** コマンドを使用します。

show running-config ntp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config ntp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ntp
ntp authentication-key 1 md5 test2
ntp authentication-key 2 md5 test
ntp trusted-key 1
ntp trusted-key 2
ntp server 10.1.1.1 key 1
ntp server 10.2.1.1 key 2 prefer
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp authenticate	NTP 認証をイネーブルにします。
ntp authentication-key	NTP サーバと同期するための暗号化認証キーを設定します。
ntp server	NTP サーバを指定します。
ntp trusted-key	NTP サーバとの認証で、パケット内で使用するセキュリティ アプライアンスのキー ID を指定します。
show ntp status	NTP アソシエーションのステータスを表示します。

show running-config object-group

現在のオブジェクト グループを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config object-group** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] object-group [protocol | service | network | icmp-type | id obj_grp_id]
```

シンタックスの説明

icmp-type	(オプション) ICMP タイプ オブジェクト グループを表示します。
id obj_grp_id	(オプション) 指定したオブジェクト グループを表示します。
network	(オプション) ネットワーク オブジェクト グループを表示します。
protocol	(オプション) プロトコル オブジェクト グループを表示します。
service	(オプション) サービス オブジェクト グループを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

例

次に、**show running-config object-group** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config object-group
object-group protocol proto_grp_1
  protocol-object udp
  protocol-object tcp
object-group service eng_service tcp
  port-object eq smtp
  port-object eq telnet
object-group icmp-type icmp-allowed
  icmp-object echo
  icmp-object time-exceeded
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure object-group	すべての object group コマンドをコンフィギュレーションから削除します。
group-object	ネットワーク オブジェクト グループを追加します。
network-object	ネットワーク オブジェクト グループにネットワーク オブジェクトを追加します。
object-group	コンフィギュレーションを最適化するためのオブジェクト グループを定義します。
port-object	サービス オブジェクト グループにポート オブジェクトを追加します。

show running-config passwd

暗号化されたログインパスワードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config passwd** コマンドを使用します。

```
show running-config {passwd | password}
```

シンタックスの説明

passwd | password どちらのコマンドでも入力できます。これらは互いにエイリアス関係にあります。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show passwd コマンドから変更されました。

使用上のガイドライン

パスワードは暗号化された形式でコンフィギュレーションに保存されるため、パスワードの入力後に元のパスワードを表示することはできません。パスワードは **encrypted** キーワードと共に表示され、パスワードが暗号化されていることが示されます。

例

次に、**show running-config passwd** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config passwd
passwd 2AfK9Kjr3BE2/J2r encrypted
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure passwd	ログインパスワードを消去します。
enable	特権 EXEC モードに入ります。
enable password	イネーブルパスワードを設定します。
passwd	ログインパスワードを設定します。
show curpriv	現在ログインしているユーザの名前および特権レベルを表示します。

show running-config pim

実行コンフィギュレーションに含まれている PIM のコマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config pim** コマンドを使用します。

show running-config pim

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show running-config pim** コマンドは、グローバル コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドを表示します。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドは表示しません。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドを表示するには、**show running-config interface** コマンドを入力します。

例 次に、**show running-config pim** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config pim

pim old-register-checksum
pim spt-threshold infinity
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure pim	pim コマンドを実行コンフィギュレーションから削除します。
	show running-config interface	インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力されたインターフェイス コンフィギュレーション コマンドを表示します。

show running-config policy-map

すべてまたはデフォルトのポリシー マップ コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config policy-map** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] policy-map [policy_map_name | type inspect [protocol/]]
```

シンタックスの説明

all	(オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。
policy_map_name	(オプション) ポリシー マップ名の実行コンフィギュレーションを表示します。
protocol	(オプション) 表示する検査ポリシー マップのタイプを指定します。指定できるタイプは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • dcerpc • dns • esmtp • ftp • gtp • h323 • http • im • mgcp • netbios • p2p • radius-accounting • sip • skinny • snmp
type inspect	(オプション) 検査ポリシー マップを表示します。

デフォルト

all キーワードを省略すると、明示的に設定したポリシー マップ コンフィギュレーションだけが表示されます。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン *all* キーワードを指定すると、明示的に設定したポリシー マップ コンフィギュレーションに加えて、デフォルトのポリシー マップ コンフィギュレーションも表示されます。

例 次に、**show running-config policy-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config policy-map
!
policy-map localmap1
  description this is a test.
  class firstclass
  priority
  ids promiscuous fail0close
  set connection random-seq# enable
  class class-default
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
policy-map	ポリシー (トラフィック クラスと 1 つまたは複数のアクションのアソシエーション) を設定します。
clear configure policy-map	ポリシー コンフィギュレーション全体を削除します。

show running-config pop3s

POP3S の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config pop3s** コマンドを使用します。表示内容にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

show running-config [all] pop3s

シンタックスの説明	all	実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。
------------------	------------	---------------------------------

デフォルト	デフォルトの動作や値はありません。
--------------	-------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
Webvpn	•	—	•	—	—

例 次に、**show running-config pop3s** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config pop3s

pop3s
 server 10.160.102.188
 authentication-server-group KerbSvr
 authentication aaa

hostname# show running-config all pop3s

pop3s
 port 995
 server 10.160.102.188
 outstanding 20
 name-separator :
 server-separator @
 authentication-server-group KerbSvr
 no authorization-server-group
 no accounting-server-group
 no default-group-policy
 authentication aaa
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure pop3s	POP3S コンフィギュレーションを削除します。
	pop3s	POP3S 電子メール プロキシのコンフィギュレーションを作成または編集します。

show running-config port-forward

転送された TCP ポートを通じて WebVPN ユーザがアクセスできるアプリケーションのセットを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config port-forward** コマンドを使用します。

show running-config [all] port-forward

シンタックスの説明

all (オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config port-forward** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config port-forward

port-forward Telnet 3500 10.148.1.5 23
port-forward Telnet 3501 10.148.1.81 23
port-forward Telnet 3502 10.148.1.82 23
port-forward SSH2 4976 10.148.1.81 22
port-forward SSH2 4977 10.148.1.85 22
port-forward Apps1 10143 flask.CompanyA.com 143
port-forward Apps1 10110 flask.CompanyA.com 110
port-forward Apps1 10025 flask.CompanyA.com 25
port-forward Apps1 11533 sametime-im.CompanyA.com 1533
port-forward Apps1 10022 ddt.s.CompanyA.com 22
port-forward Apps1 54000 10.148.1.5 23
port-forward Apps1 58000 vpn3060-1 23
port-forward Apps1 58001 vpn3005-1 23
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure port-forward	すべてのポート転送コマンドをコンフィギュレーションから削除します。listname を含めると、セキュリティ アプライアンスはそのリストのコマンドだけを削除します。
port-forward	WebVPN ユーザがアクセスできるアプリケーションのセットを設定します。
port-forward (webvpn)	ユーザまたはグループ ポリシーの WebVPN アプリケーションアクセスをイネーブルにします。

show running-config prefix-list

実行コンフィギュレーションに含まれている **prefix-list** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config prefix-list** コマンドを使用します。

show running-config prefix-list

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが、 show prefix-list コマンドから show running-config prefix-list コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン 実行コンフィギュレーションに含まれている **prefix-list description** コマンドは、常に関連する **prefix-list** コマンドの前に表示されます。コマンドを入力した順序は関係しません。

例 次に、**show running-config prefix-list** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config prefix-list
!
prefix-list abc description A sample prefix list
prefix-list abc seq 5 permit 192.168.0.0/8 le 24
prefix-list abc seq 10 deny 10.0.0.0/8 le 32
!
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure prefix-list	prefix-list コマンドを実行コンフィギュレーションから消去します。

show running-config priority-queue

インターフェイスのプライオリティ キュー コンフィギュレーションの詳細を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config priority-queue** コマンドを使用します。

```
show running-config priority-queue interface-name
```

シンタックスの説明

interface-name プライオリティ キューの詳細を表示するインターフェイスの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例は、test というインターフェイスについて show running-config priority-queue コマンドを使用した場合のコマンド出力を示しています。

```
hostname# show running-config priority-queue test
priority-queue test
  queue-limit 50
  tx-ring-limit 10
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure priority-queue	指定したインターフェイスからプライオリティ キュー コンフィギュレーションを削除します。
priority-queue	インターフェイスにプライオリティ キューイングを設定します。
show priority-queue statistics	指定したインターフェイス上に設定されているプライオリティ キューの統計情報を表示します。

show running-config privilege

コマンドまたはコマンドセットの特権を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config privilege** コマンドを使用します。

show running-config [all] privilege [all | command *command* | level *level*]

シンタックスの説明

all	(オプション。最初の引数) デフォルトの特権レベルを表示します。
all	(オプション。2 番目の引数) すべてのコマンドの特権レベルを表示します。
command <i>command</i>	(オプション) 特定のコマンドの特権レベルを表示します。
level <i>level</i>	(オプション) 指定したレベルに設定されているコマンドを表示します。有効値は 0 ～ 15 です。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、CLI ガイドラインに準拠するようにこのリリースで修正されました。

使用上のガイドライン

show running-config privilege コマンドは、現在の特権レベルを表示するために使用します。

例

```
hostname(config)# show running-config privilege level 0
privilege show level 0 command checksum
privilege show level 0 command curpriv
privilege configure level 0 mode enable command enable
privilege show level 0 command history
privilege configure level 0 command login
privilege configure level 0 command logout
privilege show level 0 command pager
privilege clear level 0 command pager
privilege configure level 0 command pager
privilege configure level 0 command quit
privilege show level 0 command version
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure privilege	コンフィギュレーションから privilege コマンド文を削除します。
privilege	コマンドの特権レベルを設定します。
show curpriv	現在の特権レベルを表示します。
show running-config privilege	コマンドの特権レベルを表示します。

show running-config regex

regex コマンドを使用して設定したすべての正規表現を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config regex** コマンドを使用します。

show running-config regex

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config regex** コマンドの出力例を示します。この例にはすべての正規表現が表示されています。

```
hostname# show running-config regex
regex test "string"
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map type regex	正規表現クラス マップを作成します。
clear configure regex	すべての正規表現を消去します。
regex	正規表現を作成します。
test regex	正規表現をテストします。

show running-config route

セキュリティ アプライアンス上で実行されているルート コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config route** コマンドを使用します。

show running-config [all] route

シンタックスの説明 デフォルトの動作や値はありません。

デフォルト このコマンドには、引数もキーワードもありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

例 次に、**show running-config route** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config route
route outside 10.30.10.0 255.255.255.0 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure route	connect キーワードを含んでいない route コマンドをコンフィギュレーションから削除します。
route	インターフェイスのスタティック ルートまたはデフォルト ルートを指定します。
show route	ルート情報を表示します。

show running-config route-map

ルートマップ コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config route-map** コマンドを使用します。

```
show running-config route-map [map_tag]
```

シンタックスの説明

map_tag (オプション) ルートマップ タグのテキスト。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

使用上のガイドライン

show running-config route-map コマンドは、コンフィギュレーション内に定義されているすべてのルートマップを表示するために使用します。名前を指定して個々のルートマップを表示するには、**show running-config route-map map_tag** コマンドを使用します。*map_tag* は、ルートマップの名前です。複数のルートマップで同じマップ タグ名を共有できます。

例

次に、**show running-config route-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config route-map
route-map maptag1 permit sequence 10
  set metric 5
  match metric 3
route-map maptag1 permit sequence 12
  set metric 5
  match interface backup
  match metric 3
route-map maptag2 deny sequence 10
  match interface dmz
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布するための条件を削除します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布するための条件を定義します。

show running-config router

指定したルーティング プロトコルのグローバル コンフィギュレーション コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config router** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] router [ospf [process_id] | rip]
```

シンタックスの説明

<i>all</i>	デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての router コマンドを表示します。
<i>ospf</i>	(オプション) グローバル OSPF コンフィギュレーション コマンドを表示します。
<i>process_id</i>	(オプション) 選択した OSPF プロセスに関するコマンドを表示します。
<i>rip</i>	(オプション) グローバル RIP コンフィギュレーション コマンドを表示します。

デフォルト

ルーティング プロトコルが指定されていない場合、設定済みのルーティング プロトコルがすべて表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show router コマンドから show running-config router コマンドに変更されました。

例

次に、**show running-config router ospf** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config router ospf 1
```

```
router ospf 1
  log-adj-changes detail
  ignore lsa mospf
  no compatible rfc1583
  distance ospf external 200
  timers spf 10 20
  timers lsa-group-pacing 60
```

次に、**show running-config router rip** コマンドの出力例を示します。

```
router rip
  network 10.0.0.0
  version 2
  no auto-summary
```


関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure router</code>	実行コンフィギュレーションからすべての router コマンドを消去します。
<code>router ospf</code>	OSPF ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードに入ります。
<code>router rip</code>	RIP ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードに入ります。

show running-config same-security-traffic

セキュリティ レベルの等しいインターフェイス間での通信を表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config same-security-traffic` コマンドを使用します。

`show running-config same-security-traffic`

シンタックスの説明

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、`show running-config same-security-traffic` コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config same-security-traffic
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>same-security-traffic</code>	セキュリティ レベルの等しいインターフェイス間での通信を許可します。

show running-config service

システム サービスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config service** コマンドを使用します。

show running-config service

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

例 次のコマンドは、システム サービスを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config service
service resetoutside
```

関連コマンド

コマンド	説明
service	システム サービスをイネーブルにします。

show running-config service-policy

現在実行されているすべてのサービス ポリシー コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config service-policy* コマンドを使用します。

```
show running-config [all] service-policy
```

シンタックスの説明

all (オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含む、すべてのサービス ポリシー コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、*show running-config service-policy* コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config service-policy
```

関連コマンド

コマンド	説明
<i>show service-policy</i>	サービス ポリシーを表示します。
<i>service-policy</i>	サービス ポリシーを設定します。
<i>clear service-policy</i>	すべてのサービス ポリシーのコンフィギュレーションを消去します。
<i>clear configure service-policy</i>	サービス ポリシーのコンフィギュレーションを消去します。

show running-config sla monitor

実行コンフィギュレーションの SLA オペレーション コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sla monitor** コマンドを使用します。

```
show running-config sla monitor [sla-id]
```

シンタックスの説明

<i>sla_id</i>	表示する sla monitor コマンドの SLA ID を指定します。有効な値は 1 ～ 2147483647 です。
---------------	--

デフォルト

sla-id を指定しない場合、すべての SLA オペレーションの **sla monitor** コマンドが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、**sla monitor** コマンド、関連付けられた SLA モニタ コンフィギュレーション モード コマンド、関連付けられた **sla monitor** スケジュール コマンド（存在する場合）を表示します。コンフィギュレーションの **track rtr** コマンドは表示しません。

例

次に、**show running-config sla monitor 5** コマンドの出力例を示します。SLA ID が 5 である SLA オペレーションの SLA モニタ コンフィギュレーションを表示します。

```
hostname# show running-config sla monitor 5

sla monitor 124
  type echo protocol ipIcmpEcho 10.1.1.1 interface outside
  timeout 1000
  frequency 3
sla monitor schedule 124 life forever start-time now
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure sla monitor	sla monitor と、関連するコマンドを実行コンフィギュレーションから削除します。
show sla monitor configuration	指定した SLA オペレーションのコンフィギュレーション値を表示します。

show running-config snmp-map

設定済みの SNMP マップを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config snmp-map** コマンドを使用します。

```
show running-config snmp-map map_name
```

シンタックスの説明	<i>map_name</i>	指定した SNMP マップのコンフィギュレーションを表示します。
------------------	-----------------	----------------------------------

デフォルト	デフォルトの動作や値はありません。
--------------	-------------------

コマンドモード	次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。
----------------	------------------------------

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	show running-config snmp-map コマンドは、設定済みの SNMP マップを表示します。
-------------------	---

例	次に、 show running-config snmp-map コマンドの出力例を示します。
----------	--

```
hostname# show running-config snmp-map snmp-policy
!
snmp-map snmp-policy
deny version 1
!
```

関連コマンド	コマンド	説明
	class-map	セキュリティ アクションを適用する先のトラフィック クラスを定義します。
	deny version	特定のバージョンの SNMP を使用するトラフィックを拒否します。
	inspect snmp	SNMP アプリケーション検査をイネーブルにします。
	snmp-map	SNMP マップを定義し、SNMP マップ コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。

show running-config snmp-server

現在実行されているすべての SNMP サーバのコンフィギュレーションを表示するには、グローバルコンフィギュレーションモードで *show running-config snmp-server* コマンドを使用します。

show running-config [default] snmp-server

シンタックスの説明 *default* デフォルト SNMP サーバのコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、*show running-config snmp-server* コマンドの例を示します。

```
hostname# show running-config snmp-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server	SNMP サーバを設定します。
clear snmp-server	SNMP サーバのコンフィギュレーションを消去します。
show snmp-server statistics	SNMP サーバのコンフィギュレーションを表示します。

show running-config ssh

現在のコンフィギュレーションに含まれている SSH のコマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ssh** コマンドを使用します。

```
show running-config [default] ssh [timeout | version]
```

```
show run [default] ssh [timeout]
```

シンタックスの説明

default	(オプション) 設定済みの SSH コンフィギュレーション値に加えて、デフォルトの値も表示します。
timeout	(オプション) 現在の SSH セッション タイムアウト値を表示します。
version	(オプション) 現在サポートされている SSH のバージョンを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが、 show ssh コマンドから show running-config ssh コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、現在の SSH コンフィギュレーションを表示します。SSH セッション タイムアウト値だけを表示するには、**timeout** オプションを使用します。アクティブな SSH セッションのリストを表示するには、**show ssh sessions** コマンドを使用します。

例

次の例では、SSH セッション タイムアウトを表示しています。

```
hostname# show running-config timeout
ssh timeout 5 minutes
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ssh	実行コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドを消去します。
ssh	指定したクライアントまたはネットワークからセキュリティ アプライアンスへの SSH 接続を許可します。
ssh scopy enable	セキュリティ アプライアンス上でセキュア コピー サーバをイネーブルにします。
ssh timeout	アイドル状態の SSH セッションのタイムアウト値を設定します。
ssh version	セキュリティ アプライアンスが SSH Version 1 または SSH Version 2 のいずれかだけを使用するように制限します。

show running-config ssl

現在の一連の設定済み ssl コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ssl** コマンドを使用します。

show running-config ssl

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、show running-config ssl コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ssl
ssl server-version tlsv1
ssl client-version tlsv1-only
ssl encryption 3des-sha1
ssl trust-point Firstcert
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear config ssl	すべての SSL コマンドをコンフィギュレーションから削除して、デフォルト値に戻します。
ssl client-version	セキュリティ アプライアンスがクライアントとして動作する場合に使用する SSL プロトコルおよび TLS プロトコルのバージョンを指定します。
ssl server-version	セキュリティ アプライアンスがサーバとして動作する場合に使用する SSL プロトコルおよび TLS プロトコルのバージョンを指定します。
ssl trust-point	インターフェイスの SSL 証明書を表す証明書トラストポイントを指定します。

show running-config static

コンフィギュレーションに含まれているすべての **static** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config static** コマンドを使用します。

```
show running-config static
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	キーワード <i>running-config</i> が追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、UDP プロトコルの最大接続値を表示します。UDP 最大接続値が「0」の場合、または設定されていない場合、制限の適用はディセーブルになります。

例 次の例は、コンフィギュレーションに含まれているすべての **static** コマンドを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config static
static (inside,outside) 192.150.49.91 10.1.1.91 netmask 255.255.255.255
static (inside,outside) 192.150.49.200 10.1.1.200 netmask 255.255.255.255 tcp 255 0
```



(注) UDP 接続の制限値は表示されません。

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure static	すべての static コマンドをコンフィギュレーションから削除します。
	static	ローカル IP アドレスをグローバル IP アドレスにマッピングすることによって、固定の 1 対 1 のアドレス変換規則を設定します。

show running-config sunrpc-server

SunRPC コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sunrpc-server** コマンドを使用します。

```
show running-config sunrpc-server interface_name ip_addr mask service service_type protocol [TCP
| UDP] port port [- port] timeout hh:mm:ss
```

シンタックスの説明

<i>interface_name</i>	サーバのインターフェイス。
<i>ip_addr</i>	サーバの IP アドレス。
<i>mask</i>	ネットワーク マスク。
port port - port	SunRPC プロトコルのポート範囲。または、2 番目のポートを指定します。
protocol	SunRPC 転送プロトコル。
service	サービスを指定します。
<i>service_type</i>	SunRPC サービス プログラム タイプを設定します。
timeout hh:mm:ss	SunRPC サービス トラフィックへのアクセスが終了するまでのタイムアウトアイドル時間を指定します。
TCP	(オプション) TCP を指定します。
UDP	(オプション) UDP を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

service_type は、**sunrpcinfo** コマンドで指定したものです。

例

次に、**show running-config sunrpc-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config sunrpc-server
inside 30.26.0.23 255.255.0.0 service 2147483647 protocol TCP port 2222 timeout
0:03:00
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure sunrpc-server</code>	SunRPC サービスをセキュリティ アプライアンスから消去します。
<code>debug sunrpc</code>	SunRPC のデバッグ情報をイネーブルにします。
<code>show conn</code>	SunRPC など、さまざまな接続タイプの接続状態を表示します。
<code>sunrpc-server</code>	SunRPC サービス テーブルを作成します。
<code>timeout</code>	SunRPC を含む、さまざまなプロトコルおよびセッション タイプのアイドル状態の最大継続時間を設定します。

show running-config sysopt

実行コンフィギュレーションの **sysopt** コマンド コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config sysopt** コマンドを使用します。

show running-config sysopt

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが、 show sysopt コマンドから変更されました。

例 次に、**show running-config sysopt** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config sysopt
no sysopt connection timewait
sysopt connection tcpmss 1200
sysopt connection tcpmss minimum 400
no sysopt nodnsalias inbound
no sysopt nodnsalias outbound
no sysopt radius ignore-secret
sysopt connection permit-ipsec
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure sysopt	sysopt コマンドのコンフィギュレーションを消去します。
	sysopt connection permit-ipsec	ACL でインターフェイスをチェックせずに IPSec トンネルからのすべてのパケットを許可します。
	sysopt connection tcpmss	TCP セグメントの最大サイズを上書きします。または、最大サイズが指定したサイズよりも小さくならないようにします。
	sysopt connection timewait	最後の標準 TCP クローズダウン シーケンスの後、各 TCP 接続が短縮 TIME_WAIT 状態を保持するようにします。
	sysopt nodnsalias	alias コマンドを使用するときに、DNS の A レコードアドレスの変更をディセーブルにします。

show running-config tcp-map

TCP マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config tcp-map** コマンドを使用します。

```
show running-config tcp-map [tcp_map_name]
```

シンタックスの説明

tcp_map_name (オプション) TCP マップ名のテキスト。テキストの長さは、58 文字までです。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config tcp-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config tcp-map
tcp-map localmap
```

関連コマンド

コマンド	説明
tcp-map	TCP マップを作成し、tcp マップ コンフィギュレーション モードにアクセスできるようにします。
clear configure tcp-map	TCP マップのコンフィギュレーションを消去します。

show running-config telnet

セキュリティ アプライアンスへの Telnet 接続の使用を認可されている IP アドレスの現在のリストを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config telnet** コマンドを使用します。また、このコマンドを使用して、Telnet セッションに許容されるアイドル時間（分）を表示することもできます。このアイドル時間が経過すると、その Telnet セッションはセキュリティ アプライアンスが終了します。

show running-config telnet [timeout]

シンタックスの説明

timeout	(オプション) Telnet セッションに許容されるアイドル時間（分）で、アイドル時間が経過すると、その Telnet セッションはセキュリティ アプライアンスが終了します。
----------------	---

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード running-config が追加されました。

例

次の例は、セキュリティ アプライアンスへの Telnet 接続でを使用することを認可されている IP アドレスの現在のリストを表示する方法を示しています。

```
hostname# show running-config telnet
2003 Jul 15 14:49:36 %MGMT-5-LOGIN_FAIL:User failed to
log in from 128.107.183.22 through Telnet
2003 Jul 15 14:50:27 %MGMT-5-LOGIN_FAIL:User failed to log in from 128.107.183.
22 through Telnet
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure telnet	コンフィギュレーションから Telnet 接続を削除します。
telnet	Telnet アクセスをコンソールに追加し、アイドル タイムアウトを設定します。

show running-config terminal

現在の端末設定を表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config terminal* コマンドを使用します。

show running-config terminal

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードも引数もありません。

デフォルト デフォルトの表示幅は 80 カラムです。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、ページの長さの設定が消去されます。

```
hostname# show running-config terminal
```

```
Width = 80, no monitor
```

関連コマンド

コマンド	説明
<i>clear configure terminal</i>	端末の表示幅設定を消去します。
<i>terminal</i>	端末回線のパラメータを設定します。
<i>terminal width</i>	端末の表示幅を設定します。

show running-config tftp-server

デフォルト TFTP サーバのアドレスとディレクトリを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config tftp-server** コマンドを使用します。

show running-config tftp-server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	<i>running-config</i> キーワードが追加されました。

例 次の例は、デフォルト TFTP サーバの IP/IPv6 アドレスとコンフィギュレーション ファイルのディレクトリを表示する方法を示しています。

```
hostname(config)# show running-config tftp-server
tftp-server inside 10.1.1.42 /temp/config/test_config
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure net	コンフィギュレーションを TFTP サーバ上の指定パスからロードします。
tftp-server	デフォルト TFTP サーバのアドレスとコンフィギュレーション ファイルのディレクトリを設定します。

show running-config timeout

すべてまたは特定のプロトコルのタイムアウト値を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config timeout** コマンドを使用します。

```
show running-config timeout protocol
```

シンタックスの説明	<i>protocol</i>	(オプション) 指定したプロトコルのタイムアウト値を表示します。サポートされているプロトコルは、 xlate 、 conn 、 udp 、 icmp 、 rpc 、 h323 、 h225 、 mgcp 、 mgcp-pat 、 sip 、 sip_media 、および uauth です。
------------------	-----------------	---

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
7.0(1)		<i>running-config</i> キーワードと <i>mgcp-pat</i> キーワードが追加されました。

例 次の例は、システムのタイムアウト値を表示する方法を示しています。

```
hostname(config)# show timeout
timeout xlate 3:00:00
timeout conn 1:00:00 half-closed 0:10:00 udp 0:02:00 icmp 0:00:02 rpc 0:10:00 h3
23 0:05:00 h225 1:00:00 mgcp 0:05:00 mgcp-pat 0:05:00 sip 0:30:00 sip_media 0:02
:00
timeout uauth 0:00:00 absolute
```

関連コマンド	コマンド	説明
clear configure timeout		デフォルトのアイドル期間に戻します。
timeout		アイドル状態の最大継続時間を設定します。

show running-config track

実行コンフィギュレーションの **track rtr** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config track** コマンドを使用します。

```
show running-config track [track-id]
```

シンタックスの説明

track-id (オプション) 表示対象を、指定のトラッキング オブジェクト ID を持つ **track rtr** コマンドに限定します。

デフォルト

track-id が指定されない場合、実行コンフィギュレーションのすべての **track rtr** コマンドが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config track** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config track 5
track 5 rtr 124 reachability
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure track	track rtr コマンドを実行コンフィギュレーションから削除します。
show track	追跡するオブジェクトに関する情報を表示します。
track rtr	SLA をポーリングするためのトラッキングエントリを作成します。

show running-config tunnel-group

すべてまたは特定のトンネル グループおよびトンネル グループ アトリビュートについて、コンフィギュレーション情報を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config tunnel-group** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] tunnel-group [name [general-attributes | ipsec-attributes | ppp-attributes]]
```

シンタックスの説明

all	(オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての tunnel-group コマンドを表示します。
general-attributes	一般アトリビュートのコンフィギュレーション情報を表示します。
ipsec-attributes	IPSec アトリビュートのコンフィギュレーション情報を表示します。
name	トンネル グループの名前を指定します。
ppp-attributes	PPP アトリビュートのコンフィギュレーション情報を表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•		•		
特権 EXEC	•		•		

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、すべてのトンネル グループの現在のコンフィギュレーションを表示しています。

```
hostname<config># show running-config tunnel-group
tunnel-group 209.165.200.225 type IPSec_L2L
tunnel-group 209.165.200.225 ipsec-attributes
pre-shared-key xyzx
hostname<config>#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure tunnel-group	トンネル グループのコンフィギュレーションを削除します。
tunnel-group general-attributes	指定したトンネル グループの一般アトリビュートを指定するための、サブコンフィギュレーション モードに入ります。
tunnel-group ipsec-attributes	指定したトンネル グループの IPSec アトリビュートを指定するための、サブコンフィギュレーション モードに入ります。
tunnel-group	指定したタイプのトンネル グループ サブコンフィギュレーション モードに入ります。

show running-config url-block

URL フィルタリングで使用されるバッファとメモリ割り当てのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-block** コマンドを使用します。

```
show running-config url-block [ block | url-mempool | url-size ]
```

シンタックスの説明

block	バッファされるブロックの最大数に関するコンフィギュレーションを表示します。
url-mempool	許容される最大の URL サイズ (KB 単位) に関するコンフィギュレーションを表示します。
url-size	長い URL のバッファに割り当てられるメモリ リソース (KB 単位) に関するコンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン

show running-config url-block コマンドは、URL フィルタリングで使用されるバッファとメモリ割り当てのコンフィギュレーションを表示します。

例

次に、**show running-config url-block** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-block
!
url-block block 56
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-block block statistics	ブロック バッファ使用状況カウンタを消去します。
show url-block	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
url-block	Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

show running-config url-cache

URL フィルタリングで使用されるキャッシュのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-cache** コマンドを使用します。

show running-config url-cache

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン **show running-config url-cache** コマンドは、URL フィルタリングで使用されるキャッシュのコンフィギュレーションを表示します。

例 次に、**show running-config url-cache** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-cache
!
url-cache src_dst 128
!
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear url-cache statistics	コンフィギュレーションから url-cache コマンド文を削除します。
	filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに向けて送ります。
	show url-cache statistics	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
	url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
	url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

show running-configuration url-list

WebVPN ユーザがアクセスできる URL のセットを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-configuration url-list** コマンドを使用します。

show running-configuration url-list

シンタックスの説明

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
Webvpn	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-configuration url-list** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-configuration url-list
url-list userURL "SW Engineering" http://10.1.1.2
url-list userURL "My Company" http://www.mycompany.com
url-list userURL "401K Program" https://401k.com
url-list userURL "Exchange5.5 Mail" http://10.1.1.11/exchange
url-list URLlist2 "OWA-2000" http://10.1.1.7/exchange
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configuration url-list	すべての url-list コマンドをコンフィギュレーションから削除します。listname を含めると、セキュリティ アプライアンスはそのリストのコマンドだけを削除します。
url-list	WebVPN ユーザがアクセスできる URL のセットを設定します。
url-list	特定のグループ ポリシーまたはユーザの WebVPN URL アクセスをイネーブルにします。

show running-config url-server

URL フィルタリング サーバのコンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config url-server** コマンドを使用します。

show running-config url-server

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン **show running-config url-server** コマンドは、URL フィルタリング サーバのコンフィギュレーションを表示します。

例 次に、**show running-config url-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config url-server
!
url-server (perimeter) vendor websense host 10.0.1.1
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-server	URL フィルタリング サーバの統計情報を消去します。
show url-server	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
url-block	フィルタリング サーバからのフィルタリング決定を待っている間、Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

show running-config username

特定のユーザの実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config username** コマンドをユーザ名を付加して使用します。すべてのユーザの実行コンフィギュレーションを表示するには、ユーザ名を指定せずにこのコマンドを使用します。

```
show running-config [all] username [name] [attributes]
```

シンタックスの説明

attributes	ユーザの特定の AVP を表示します。
all	(オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのユーザ名についてコマンドを表示します。
name	ユーザの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
ユーザ名	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、anyuser というユーザについての show running-config username コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config username anyuser
username anyuser password .8T1d6ik58/lzXS5 encrypted privilege 3
username anyuser attributes
vpn-group-policy DefaultGroupPolicy
vpn-idle-timeout 10
vpn-session-timeout 120
vpn-tunnel-protocol IPSec
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear config username	ユーザ名データベースを消去します。
username	ユーザをセキュリティ アプライアンスのデータベースに追加します。
username attributes	特定のユーザのアトリビュートを設定できます。

show running-config virtual

セキュリティ アプライアンス仮想サーバの IP アドレスを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config virtual** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] virtual
```

シンタックスの説明

all すべての仮想サーバの仮想サーバ IP アドレスを表示します。

デフォルト

all キーワードを省略すると、現在の仮想サーバ（複数の場合あり）に対して明示的に設定した IP アドレスだけが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI ガイドラインに沿うように、このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、特権 EXEC モードに入っている必要があります。

例

次に、設定済みの HTTP 仮想サーバが存在する場合の **show running-config virtual** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config virtual
virtual http 192.168.201.1
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure virtual	コンフィギュレーションから virtual コマンド文を削除します。
virtual	認証仮想サーバのアドレスを表示します。

show running-config vpn load-balancing

現在の VPN ロードバランシング仮想クラスタのコンフィギュレーションを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モード、特権 EXEC モード、または VPN ロードバランシング モードで **show running-config vpn load-balancing** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] vpn load-balancing
```

シンタックスの説明

all デフォルトおよび明示的に設定した VPN ロードバランシング コンフィギュレーションを両方とも表示します。

デフォルト

all キーワードを省略すると、明示的に設定した VPN ロードバランシング コンフィギュレーションが表示されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—
VPN ロードバランシング	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config vpn load-balancing コマンドは、関連コマンドである **cluster encryption**、**cluster ip address**、**cluster key**、**cluster port**、**nat**、**participate**、および **priority** に関するコンフィギュレーション情報も表示します。

例

次に、*all* オプションをイネーブルにした **show running-config vpn load-balancing** コマンドとその出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config all vpn load-balancing
vpn load-balancing
no nat
priority 9
interface lbpublic test
interface lbprivate inside
no cluster ip address
no cluster encryption
cluster port 9023
no participate
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear configure vpn load-balancing</code>	コンフィギュレーションから <code>vpn load-balancing</code> コマンド文を削除します。
<code>show vpn load-balancing</code>	VPN ロードバランシングの実行時の統計情報を表示します。
<code>vpn load-balancing</code>	VPN ロードバランシング モードに入ります。

show running-config webvpn

webvpn の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config webvpn** コマンドを使用します。表示内容にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

```
show running-config [all] webvpn [apcf | auto-signon | cache | proxy-bypass | rewrite | sso-server | url-list]
```

シンタックスの説明

all	(オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。
apcf	(オプション) WebVPN APCF の実行コンフィギュレーションを表示します。
auto-signon	(オプション) WebVPN 自動サインオンの実行コンフィギュレーションを表示します。
cache	(オプション) WebVPN キャッシングの実行コンフィギュレーションを表示します。
proxy-bypass	(オプション) WebVPN プロキシ バイパスの実行コンフィギュレーションを表示します。
rewrite	(オプション) WebVPN コンテンツ変換の実行コンフィギュレーションを表示します。
sso-server	(オプション) シングル サインオンの実行コンフィギュレーションを表示します。
url-list	(オプション) WebVPN による URL へのアクセスの実行コンフィギュレーションを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。
7.1(1)	このコマンドが変更されました。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
WebVPN	•	—	•	—	—

例

次に、**show running-config webvpn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-configuration webvpn
webvpn
  title WebVPN Services for ASA-4
  title-color green
  default-idle-timeout 0
  nbns-server 10.148.1.28 master timeout 2 retry 2
  accounting-server-group RadiusACS1
  authentication-server-group RadiusACS2
  authorization-dn-attributes CN
```

次に、**show running-config all webvpn** コマンドの出力例を示します。

```
hostname#(config-webvpn)# show running-config all webvpn

webvpn
  title WebVPN Services for ASA-4
  username-prompt Username
  password-prompt Password
  login-message Please enter your username and password
  logout-message Goodbye
  no logo
  title-color green
  secondary-color #CCCCCC
  text-color white
  secondary-text-color black
  default-idle-timeout 0
  no http-proxy
  no https-proxy
  nbns-server 10.148.1.28 master timeout 2 retry 2
  accounting-server-group RadiusACS1
  authentication-server-group RadiusACS2
  no authorization-server-group
  default-group-policy DfltGrpPolicy
  authentication aaa
  no authorization-required
  authorization-dn-attributes CN
hostname#
```

次に、**show running-config webvpn sso-server** コマンドの出力例を示します。

```
hostname#(config-webvpn)# show running-config webvpn sso-server
sso-server
sso-server bxbsvr type siteminder
web-agent-url http://bxb-netegrity.demo.com/vpnauth/
policy-server-secret cisco1234
sso-server policysvr type siteminder
web-agent-url http://webagent1.mysiteminder.com/ciscoauth/
policy-server-secret Cisco1234
max-retry-attempts 4
request-timeout 10
hostname#(config-webvpn)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure webvpn	デフォルト以外の WebVPN コンフィギュレーションアトリビュートを削除します。
debug webvpn	WebVPN セッションに関するデバッグ情報を表示します。
show webvpn	WebVPN セッションに関する統計情報を表示します。

show running-config webvpn auto-signon

実行コンフィギュレーション内のすべての WebVPN 自動サインオン割り当てを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config webvpn auto-signon** コマンドを使用します。

show running-config webvpn auto-signon

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、**show running-config webvpn auto-signon** の出力例を示します。

```
hostname(config)# webvpn
hostname(config-webvpn)# auto-signon allow ip 10.1.1.0 255.255.255.0 auth-type ntlm
hostname(config-webvpn)# auto-signon allow uri *.example.com/* auth-type basic
hostname(config-webvpn)# show running-config webvpn auto-signon
auto-signon allow ip 10.1.1.0 255.255.255.0 auth-type ntlm
auto-signon allow uri *.example.com/* auth-type basic
```

関連コマンド

auto-signon	セキュリティ アプライアンスが WebVPN ログイン クレデンシャルを自動的に内部サーバに渡すように設定します。
--------------------	---

show running-config zonelabs-integrity

Zone Labs Integrity サーバ コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config zonelabs-integrity** コマンドを使用します。

show running-config [all] zonelabs-integrity

シンタックスの説明

all (オプション) 実行コンフィギュレーションを、デフォルトのコンフィギュレーション値を含めて表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、すべての Zone Labs Integrity サーバのアドレスと、アクティブな Zone Labs Integrity サーバの設定値を表示します。明示的に設定されている値に加えてデフォルト値も表示するには、**all** パラメータを使用します。

例

次に、**show running-config zonelabs-integrity** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config zonelabs-integrity
zonelabs-integrity server-address 10.0.9.1 10.0.9.2
zonelabs-integrity port 300
hostname#
```

次に、**show running-config all zonelabs-integrity** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config all zonelabs-integrity
zonelabs-integrity server-address 10.0.9.1 10.0.9.2
zonelabs-integrity port 300
zonelabs-integrity interface none
zonelabs-integrity fail-open
zonelabs-integrity fail-timeout 10
zonelabs-integrity ssl-client-authentication disable
zonelabs-integrity ssl-certificate-port 80
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure zonelabs-integrity	Zone Labs Integrity サーバのコンフィギュレーションを消去します。

show running-config smtps

SMTPS の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-configuration smtps** コマンドを使用します。表示内容にデフォルト コンフィギュレーションを含めるには、**all** キーワードを使用します。

show running-config [all] smtps

シンタックスの説明

all 実行コンフィギュレーションを、デフォルト値を含めて表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config smtps** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config smtps

smtps
server 10.1.1.21
authentication-server-group KerbSvr
authentication aaa

hostname# show running-config all smtps

smtps
port 995
server 10.1.1.21
outstanding 20
name-separator :
server-separator @
authentication-server-group KerbSvr
no authorization-server-group
no accounting-server-group
no default-group-policy
authentication aaa
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure smtps	SMTPS コンフィギュレーションを削除します。
smtps	SMTPS 電子メール プロキシのコンフィギュレーションを作成または編集します。

show running-config vpdn

PPPoE 接続に使用する VPDN コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config vpdn** コマンドを使用します。

show running-config vpdn

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト このコマンドには、デフォルトの動作も値もありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、show running-config vpdn コマンドの使用法とそのコマンド出力を示します。

```
hostname# show running-config vpdn
vpdn group telecommuters ppp authentication mschap
vpdn username tomm password ***** store-local
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config vpdn group	VPDN グループの現在のコンフィギュレーションを表示します。
show running-config vpdn username	VPDN ユーザ名の現在のコンフィギュレーションを表示します。

show running-configuration vpn-sessiondb

現在の一連の設定済み vpn-sessiondb コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-configuration vpn-sessiondb** コマンドを使用します。

show running-configuration [all] vpn-sessiondb

シンタックスの説明

all (オプション) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての **vpn-sessiondb** コマンドを表示します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

リリース 7.0 以降では、このコマンドは VPN 最大セッション制限のみを表示します（設定されている場合）。

例

次に、**show running-configuration vpn-sessiondb** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-configuration vpn-sessiondb
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vpn-sessiondb	セッションを詳細情報付きまたは詳細情報なしで表示します。指定する基準に従って、フィルタリングおよびソートすることもできます。
show vpn-sessiondb summary	セッションの要約を表示します。現在のセッションの合計数、各タイプの現在のセッション数、ピーク時の数および累積合計数、最大同時セッション数を含んでいます。

show running-config wccp

実行コンフィギュレーションの WCCP コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config wccp** コマンドを使用します。

```
show [all] running-config wccp
```

シンタックスの説明

all 1 つまたはすべての WCCP コマンドについて、デフォルトと、明示的に設定されたコンフィギュレーション情報を表示します。

デフォルト

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**show running-config wccp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config wccp
wccp web-cache redirect-list wooster group-list jeeves password whatho
hostname#
```

関連コマンド

コマンド	説明
wccp	WCCP のサポートをイネーブルにします。
wccp redirect	WCCP リダイレクションのサポートをイネーブルにします。

■ show running-config wccp